

## 地下水揚水量報告書

① 令和3年 4月 〇日

長野市長 様

② 所在地 長野市大字鶴賀緑町1613番地  
名称 長野市役所株式会社  
代表者氏名 長野 太郎  
電話番号 〇〇〇-〇〇〇〇

長野市公害防止条例第37条の規定により、次のとおり報告します。

工場又は事業場の名称	③ 長野市役所株式会社
揚水設備又は井戸の名称又は番号	④
揚水設備又は井戸の設置場所	⑤ 長野市大字鶴賀緑町1613番地
年間揚水量 (m <sup>3</sup> )	⑥ 15,000 m <sup>3</sup>

①届出を提出した年月日を記入する。

②届出事業者の所在地、名称、代表者氏名を記入する。

③井戸が届出事業所と同一場所にある場合は②の名称を記入し、別の場所にある場合はその名称を記入する。（例：長野市役所株式会社 長野工場）

④同一事業所に井戸が一つの場合は「空欄」でよい。複数の井戸がある場合、それぞれの名称を記入（例：1号井戸 2号井戸）し、それぞれ別の報告書を提出する。

⑤井戸が届出事業所と同一場所にある場合は②の所在地を記入し、別の場所にある場合はその所在地を記入する。（例：長野市鶴賀赤町567-8）

⑥別紙 「地下水揚水量記録簿の揚水量」の年間計を記入する。

小数点以下は切り捨てて記入する。（例 55.5m<sup>3</sup> → 55m<sup>3</sup>）

揚水量が0の場合は0と記入し、理由を書いて報告書を提出する。

（例：防災用として使用するため）

地下水揚水量記録簿		① 令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで	
井戸の名称又は 番号	②		
さく井年月日	③平成〇年 〇月 〇日		
ストレーナーの 位置(地表面下 m)	④上限30m～下限40m		
揚水機の吐出口 の断面積(cm <sup>2</sup> )	⑤100 cm <sup>2</sup>		
地下水の用途	⑥トイレ、雑排水用		
区分	⑦揚水量(m <sup>3</sup> /月)	⑧稼働日数(日 /月)	⑨稼働時間(h /月)
4月	1,600	20	160
5月	1,800	21	168
6月	1,200	18	144
...	...	...	...
年間計	⑩15,000	180	1200

①前年度の4月1日から3月31日までに採取した揚水量を報告する

②別紙「地下水揚水量報告書」④と同じ

③井戸を掘った年月日を記入

④ストレーナー（井戸水面）の上限と下限を記入

⑤揚水能力に関連する吐出口の断面積を記入

⑥地下水の用途（例 飲用水、生活用水、トイレ用水、農業用水、工業用水）を記入

⑦月別の揚水量を記入。小数点以下切り捨て（例 55.5→55）

⑧月別の稼働日数を記入（例 0～31）

⑨月別の稼働時間を記入。小数点以下切り捨て（例 0～744）

⑩揚水量の合計を記入。メーターがない場合、揚水能力と稼働時間で概算した数値を記入

※③～⑤は、市に提出した「長野市地下水揚水設備設置届出書」を参照

※③～⑤、⑧、⑨について、わからない場合は「空欄」でよい